

# 平成22年国勢調査 従業地・通学地集計結果

平成24年7月3日  
埼玉県総務部統計課

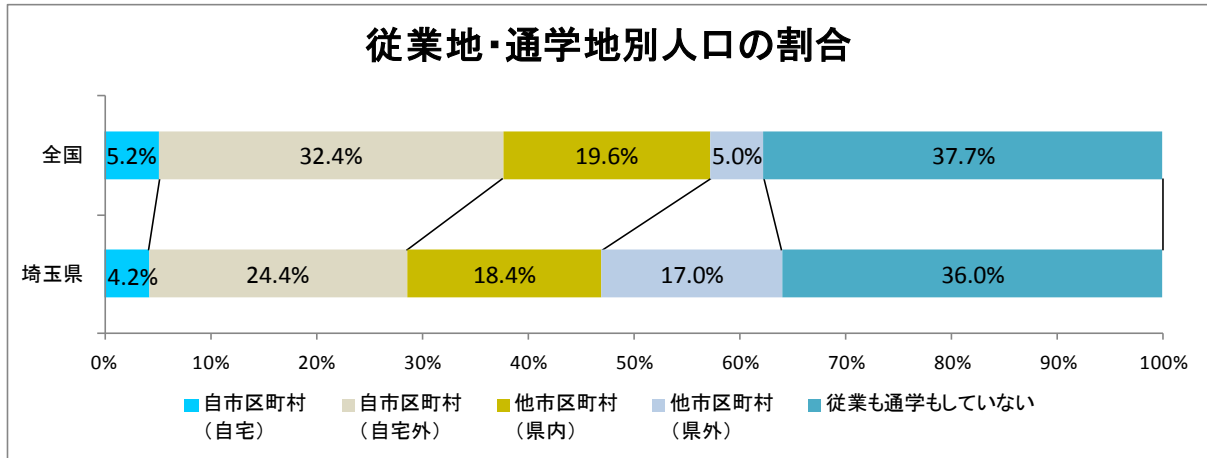
## 1 従業地・通学地別人口

### (1) 従業地・通学地 ー総人口

- 他県に従業・通学する人口割合は17.0%で、全国で最も高い
- 自市区町村内での従業・通学が減少している

本県の総人口に占める従業地・通学地別人口割合は、自市区町村（自宅）が4.2%、自市区町村（自宅外）が24.4%、他市区町村（県内）が18.4%、他市区町村（県外）が17.0%となった。

これを全国と比較すると、自市区町村（自宅外）が8.0ポイント低い。一方、他市区町村（県外）の17.0%は、全国と比較して12.0ポイント高く、他県に従業・通学している割合は、前回調査に引き続き全国で最も高かった。



他県で従業・通学【平成22年】

順位	都道府県	人口に占める割合(%)
第1位	埼玉県	17.0
第2位	千葉県	15.7
第3位	奈良県	15.7
第4位	神奈川県	14.2
第5位	兵庫県	7.8

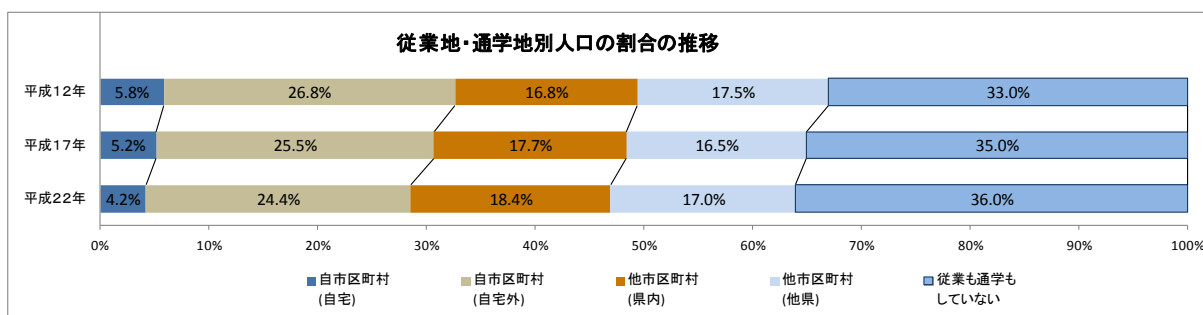
他県で従業・通学【平成17年】

順位	都道府県	人口に占める割合(%)
第1位	埼玉県	16.5
第2位	奈良県	15.7
第3位	千葉県	15.2
第4位	神奈川県	13.4
第5位	兵庫県	7.5

過去の調査と比較すると、自市区町村内での従業・通学割合は12年の32.6%が、17年には1.9ポイント減少し30.7%、22年には2.1ポイント減少し28.6%となり、一貫した減少となっている。

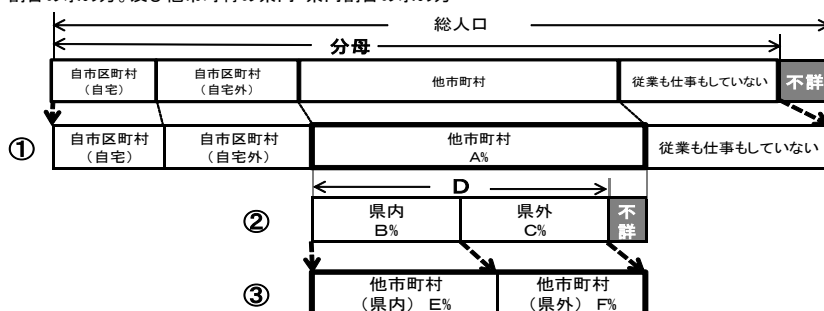
従業地・通学地別人口及び15歳以上就業者数 埼玉県 \* 年齢不詳除く

	実数(人)			割合(%)			ポイント差	
	平成12年*	平成17年*	平成22年	平成12年	平成17年	平成22年	12年~17年	17年~22年
常住人口 (夜間人口)	6,925,232	7,035,620	7,194,556	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0
自市区町村	2,226,339	2,106,912	1,921,666	32.6	30.7	28.6	-1.9	-2.1
(自宅)	397,918	354,127	283,024	5.8	5.2	4.2	-0.6	-1.0
(自宅外)	1,828,421	1,752,785	1,638,642	26.8	25.5	24.4	-1.3	-1.1
他市区町村	2,340,631	2,352,625	2,383,041	34.3	34.2	35.4	-0.1	1.2
(県内)	1,145,958	1,218,144	1,155,040	16.8	17.7	18.4	0.9	0.7
(他県)	1,194,673	1,134,481	1,069,516	17.5	16.5	17.0	-1.0	0.5
従業も通学もしていない	2,253,690	2,406,183	2,421,475	33.0	35.0	36.0	2.0	1.0
常住人口のうち15歳以上従業・通学者	3,987,136	3,910,900	3,879,297	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0
自市区町村	1,661,142	1,579,218	1,398,050	41.7	40.4	36.0	-1.3	-4.3
(自宅)	397,918	354,127	283,024	10.0	9.1	7.3	-0.9	-1.8
(自宅外)	1,263,224	1,225,091	1,115,026	31.7	31.3	28.7	-0.4	-2.6
他市区町村	2,325,994	2,331,682	2,356,977	58.3	59.6	60.8	1.3	1.1
(県内)	1,141,041	1,206,716	1,142,759	28.6	30.9	31.5	2.2	0.7
(他県)	1,184,953	1,124,966	1,060,400	29.7	28.8	29.2	-1.0	0.5



(注)

割合の求め方。及び他市区町村の県内・県外割合の求め方



○割合は、総人口から年齢不詳等を除いたものを分母に算出している。①

○「県内」「県外」の割合は、次の2ステップで求める。

ステップ1 「他市区町村」の中から従業地不詳等を除いた数(D)を分母として、  
県内の割合(B%)と県外の割合(C%)を求める。②

ステップ2 他市区町村の割合Aに、BとCを乗じて、他市区町村(県内)E%と他市区町村(県外)F%を  
求める。③

(2) 従業地・通学地 — 15歳以上の就業者、通学者

ア 流出人口

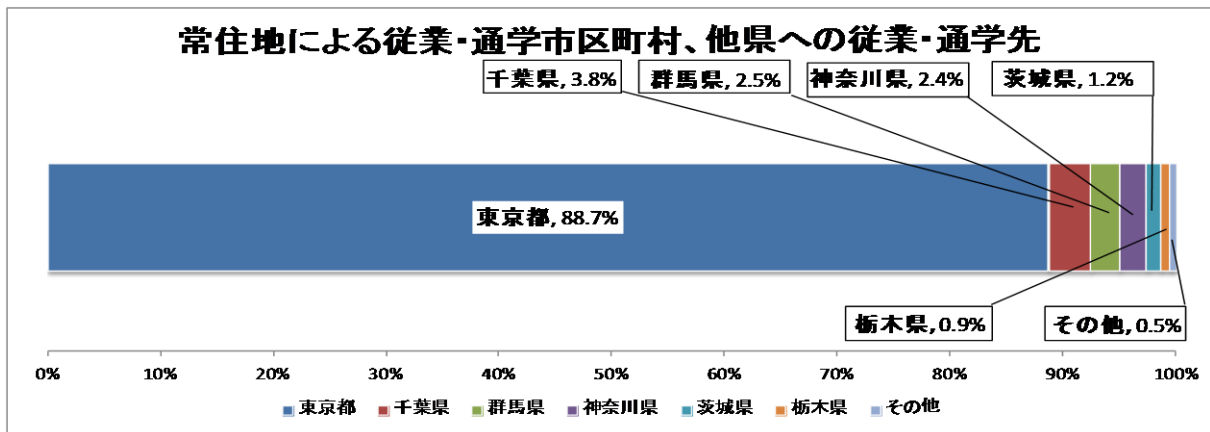
○15歳以上の就業者・通学者のうち、県外へ従業・通学者の約9割が東京都へ  
○県外への通勤・通学者の数は、神奈川県に次いで全国第二位

埼玉県に常住する15歳以上の就業者・通学者3,879,297人のうち、県外に従業・通学している者は1,060,400人であった。

このうち、東京都への940,602人(県外への従業・通学者の88.7%)が最も多く、次いで千葉県への40,245人(同3.8%)、群馬県への26,613人(同2.5%)の順となっている。

他県への従業・通学者の数1,060,400人は、神奈川県の1,087,143人に次いで全国第二位であり、その割合29.2%は、奈良県の30.4%に次いで全国第二位となっている。

なお、前回調査(平成17年)では1,124,966人、28.8%であり、人数、割合ともに二位であった。



県外で従業・通学する人数

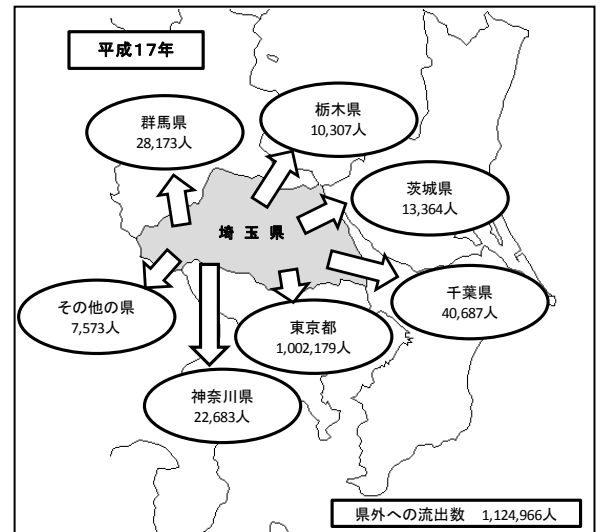
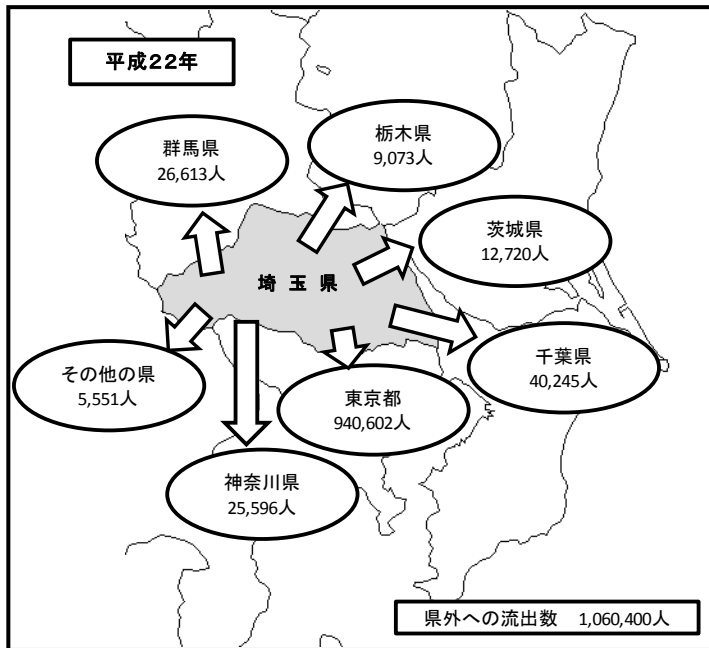
順位	都道府県名	県外での従業・通学数(人)	( )内は平成17年の結果
1	神奈川県	1,087,143	(1,131,345)
2	埼玉県	1,060,400	(1,124,966)
3	千葉県	833,129	(883,987)
4	東京都	466,534	(481,636)
5	兵庫県	371,973	(403,921)
43	北海道	4,740	(5,741)
44	新潟県	4,695	(4,618)
45	秋田県	3,297	(3,452)
46	高知県	2,731	(3,350)
47	沖縄県	1,325	(1,343)

県外で従業・通学する割合

順位	都道府県名	県外での従業・通学割合 (%)	( )内は平成17年の結果
1	奈良県	30.4%	(30.1%)
2	埼玉県	29.2%	(28.8%)
3	千葉県	27.6%	(26.9%)
4	神奈川県	25.0%	(23.6%)
5	兵庫県	14.2%	(14.1%)
43	青森県	0.7%	(1.0%)
44	秋田県	0.6%	(0.6%)
45	新潟県	0.4%	(0.3%)
46	沖縄県	0.2%	(0.2%)
47	北海道	0.2%	(0.2%)

他都道府県に従業・通学する15歳以上就業者及び通学者(流出人口)

	総数				男			女		
	総数	割合	就業者	通学者	総数	就業者	通学者	総数	就業者	通学者
流出人口	1,060,400	100.0%	943,315	117,085	732,321	670,574	61,747	328,079	272,741	55,338
茨城県	12,720	1.2%	12,196	524	9,827	9,494	333	2,893	2,702	191
栃木県	9,073	0.9%	7,450	1,623	7,460	6,383	1,077	1,613	1,067	546
群馬県	26,613	2.5%	24,446	2,167	19,698	18,548	1,150	6,915	5,898	1,017
千葉県	40,245	3.8%	32,722	7,523	27,695	23,069	4,626	12,550	9,653	2,897
東京都	940,602	88.7%	840,990	99,612	641,925	590,821	51,104	298,677	250,169	48,508
神奈川県	25,596	2.4%	20,410	5,186	20,865	17,685	3,180	4,731	2,725	2,006
その他の道府県	5,551	0.5%	5,101	450	4,851	4,574	277	700	527	173



## イ 流入人口

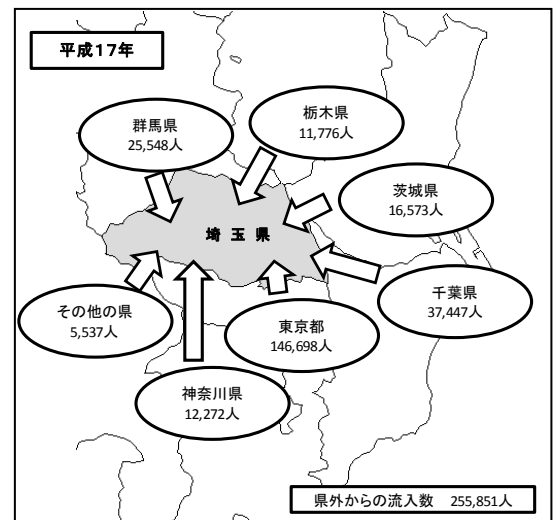
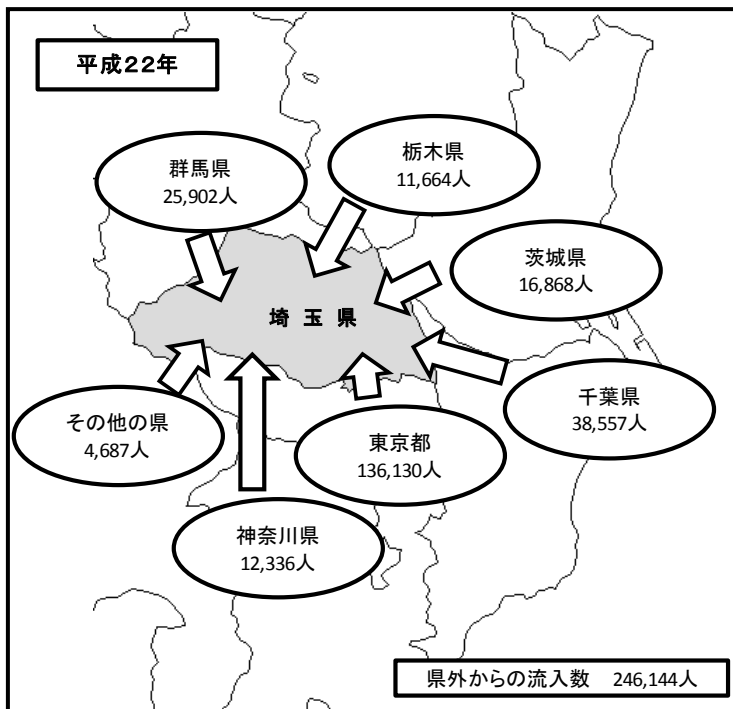
**他都道府県に常住する15歳以上の就業者・通学者のうち、埼玉県に従業・通学している者の約7割が東京都と千葉県から**

他都道府県に常住する15歳以上の就業者・通学者のうち、埼玉県に従業・通学する者は246,144人であった。

県外からの従業・通学者は、東京都からの136,130人（県外からの通勤・通学者の55.3%）が最も多く、次いで千葉県、群馬県の順となっている。

他都道府県から埼玉県に従業・通学する15歳以上就業者及び通学者(流入人口)

流入人口	総数				男			女		
	総数	割合	就業者	通学者	総数	就業者	通学者	総数	就業者	通学者
流入人口	246,144	100.0%	211,088	35,056	174,538	154,809	19,729	71,606	56,279	15,327
茨城県	16,868	6.9%	13,716	3,152	11,247	9,566	1,681	5,621	4,150	1,471
栃木県	11,664	4.7%	9,040	2,624	8,544	7,081	1,463	3,120	1,959	1,161
群馬県	25,902	10.5%	22,029	3,873	17,925	15,735	2,190	7,977	6,294	1,683
千葉県	38,557	15.7%	33,376	5,181	27,734	25,062	2,672	10,823	8,314	2,509
東京都	136,130	55.3%	118,839	17,291	95,195	85,254	9,941	40,935	33,585	7,350
神奈川県	12,336	5.0%	10,363	1,973	10,029	8,843	1,186	2,307	1,520	787
その他道府県	4,687	1.9%	3,725	962	3,864	3,268	596	823	457	366



## ウ その他

### 東京都への従業・通学者数は、神奈川県に次いで2番目

他県から東京都へ従業・通学する15歳以上の就業者・通学者は、神奈川県  
1,037,843人が最も多く、次いで埼玉県の940,602人、千葉県の732,821人となっ  
ている。

なお前回調査（平成17年）の結果は、神奈川県から1,076,369人、埼玉県から  
1,002,179人、千葉県から781,839人であった。

東京都への流入人口（従業・通学）

	男女計		男	女
神奈川県	1,037,843	36.2%	704,030	333,813
埼玉県	940,602	32.8%	641,925	298,677
千葉県	732,821	25.6%	513,971	218,850
茨城県	70,687	2.5%	51,420	19,267
栃木県	17,446	0.6%	12,927	4,519
その他道府県	66,968	2.3%	51,487	15,481
合計	2,866,367	100.0%	1,975,760	890,607

### 常住地による従業・通学 都県別 15歳以上就業者及び通学者 ー 関東

1) 従業地・通学地「不詳」を含む。

2) 他市区町村に従業・通学で、従業地・通学地「不詳」を含む。

	当地に常住す る就業・通学 者 1)	自都県で従 業・通学	他都県で従 業・通学 2)								
				茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	その他
茨城県	1,568,341	1,344,366	159,224		22,001	952	16,868	41,801	70,687	3,115	3,800
栃木県	1,069,481	966,387	72,344	16,365		22,268	11,664	1,073	17,446	1,478	2,050
群馬県	1,061,815	976,309	58,261	829	15,491		25,902	699	12,205	1,073	2,062
埼玉県	3,879,297	2,540,809	1,060,400	12,720	9,073	26,613		40,245	940,602	25,596	5,551
千葉県	3,214,273	2,193,894	833,129	31,906	876	601	38,557		732,821	23,750	4,618
東京都	6,718,233	5,338,105	466,534	6,186	2,461	1,887	136,130	79,066		224,763	16,041
神奈川県	4,616,588	3,315,477	1,087,143	1,766	1,095	821	12,336	13,928	1,037,843		19,354

## 2 昼夜間人口

### (1) 都道府県

**埼玉県の昼夜間人口比率は88.6となり、前回調査（H17）に引き続き全国で最も低い**

埼玉県の昼夜間人口比率（夜間人口100人当たりの昼間人口の割合）は88.6となり、前回調査（H17）に引き続き全国で最も低かった。

以下、千葉県89.5、奈良県89.9と続き、東京都や大阪府の周辺に位置する県で昼夜間人口比率が低くなっている。

一方、昼夜間人口比率が高いのは、東京都118.4を筆頭に、大阪府104.7、愛知県101.5と続く。

また、埼玉県の昼間人口は、全国第5位の6,373,489人となり、平成17年と比べると214,525人の増加となった。

都道府県別では、東京都15,576千人、大阪府が9,281千人、神奈川県が8,254千人、愛知県が7,521千人、埼玉県が6,373千人などとなっている。

#### ◇ 昼夜間人口比率

【比率の高い順】

H22

順位	市町村	昼夜間人口比率
1	東京都	118.4
2	大阪府	104.7
3	愛知県	101.5
4	京都府	101.2
5	広島県	100.3

H17

順位	市町村	昼夜間人口比率
1	東京都	120.6
2	大阪府	105.5
3	愛知県	101.7
4	京都府	100.8
5	石川県	100.3

【比率の低い順】

H22

順位	市町村	昼夜間人口比率
1	埼玉県	88.6
2	千葉県	89.5
3	奈良県	89.9
4	神奈川県	91.2
5	兵庫県	95.7

H17

順位	市町村	昼夜間人口比率
1	埼玉県	87.5
2	千葉県	88.5
3	奈良県	88.7
4	神奈川県	90.3
5	兵庫県	95.1

#### ◇ 昼間人口

【人口数の多い順】

H22

順位	都道府県	人数
1	東京都	15,576,130
2	大阪府	9,280,560
3	神奈川県	8,254,193
4	愛知県	7,520,876
5	埼玉県	6,373,489

H17

順位	都道府県	人数
1	東京都	14,977,580
2	大阪府	9,241,468
3	神奈川県	7,905,219
4	愛知県	7,341,385
5	埼玉県	6,158,964

【人口数の少ない順】

H22

順位	都道府県	人数
1	鳥取県	588,523
2	島根県	717,522
3	高知県	763,479
4	徳島県	783,270
5	福井県	806,735

H17

順位	都道府県	人数
1	鳥取県	607,449
2	島根県	740,729
3	高知県	795,109
4	徳島県	807,551
5	福井県	821,456

(2) 市町村

**県内で昼夜間人口比率が最も高いのは三芳町の 113.1 で、最も低いのは富士見市の 72.4**

県内で昼夜間人口比率が最も高いのは、三芳町の 113.1 で、次いで嵐山町の 104.5、美里町の 100.8 の順であった。

県内で昼夜間人口の比率が最も高かった三芳町では、近隣の富士見市から 3,538 人、ふじみ野市から 2,741 人、川越市から 2,212 人の流入がある。

一方、昼夜間人口比率が最も低いのは、富士見市（全国順位(低い順)で第 7 位)の 72.4 で、次いで鳩ヶ谷市 75.6(全国順位(同)で第 25 位、現在は川口市と合併)、東秩父村 76.4 の順であった。(さいたま市の各区の中では、南区の昼夜間人口比率が 75.5 となり、全国順位(低い順)第 24 位。)

県内で昼夜間人口の比率が最も低かった富士見市では、他市区町村で従業・通学する人のうち県内と県外でほぼ半々となり、県外の流出先では約 96% の 18,178 人が東京都となっている。

◇ 昼夜間人口比率

【比率の高い順】

H22

順位	市町村	昼夜間人口比率
1	三芳町	113.1
2	嵐山町	104.5
3	美里町	100.8
4	本庄市	100.8
5	滑川町	100.4

H17

順位	市町村	昼夜間人口比率
1	三芳町	113.2
2	玉川村	108.7
3	大利根町	104.0
4	本庄市	101.6
5	八潮市	100.6

【比率の低い順】

H22

順位	市町村	昼夜間人口比率
1	富士見市	72.4
2	鳩ヶ谷市	75.6
3	東秩父村	76.4
4	白岡町	77.0
5	松伏町	78.2

H17

順位	市町村	昼夜間人口比率
1	南河原村	68.1
2	鷲宮町	69.2
3	富士見市	70.4
4	都幾川村	71.1
5	東秩父村	72.7

◇ 昼間人口

【人口数の多い順】

H22

順位	市町村	人数
1	さいたま市	1,133,978
2	川口市	419,080
3	川越市	332,876
4	所沢市	295,595
5	越谷市	282,810

H17

順位	市町村	人数
1	さいたま市	1,077,638
2	川口市	406,505
3	川越市	320,286
4	所沢市	284,436
5	越谷市	263,826

【人口数の少ない順】

H22

順位	市町村	人数
1	東秩父村	2,559
2	長瀨町	6,861
3	横瀬町	7,409
4	皆野町	10,056
5	ときがわ町	10,813

H17

順位	市町村	人数
1	神泉村	1,188
2	東秩父村	2,760
3	南河原村	2,788
4	都幾川村	5,532
5	玉川村	5,972



別紙（昼夜間人口比率）

○都道府県

	昼夜間人口比率 平成22年	
00 全国	100.0	全国順位
01 北海道	100.0	19
02 青森県	100.0	13
03 岩手県	99.7	32
04 宮城県	100.2	9
05 秋田県	99.9	24
06 山形県	99.8	28
07 福島県	99.6	33
08 茨城県	97.2	40
09 栃木県	99.1	36
10 群馬県	99.9	27
11 埼玉県	88.6	47
12 千葉県	89.5	46
13 東京都	118.4	1
14 神奈川県	91.2	44
15 新潟県	100.0	17
16 富山県	99.8	29
17 石川県	100.2	7
18 福井県	100.1	12
19 山梨県	99.0	37
20 長野県	99.9	25
21 岐阜県	96.0	42
22 静岡県	99.9	26
23 愛知県	101.5	3
24 三重県	98.1	38
25 滋賀県	96.6	41
26 京都府	101.2	4
27 大阪府	104.7	2
28 兵庫県	95.7	43
29 奈良県	89.9	45
30 和歌山県	98.1	39
31 鳥取県	100.0	18
32 島根県	100.0	16
33 岡山県	99.9	21
34 広島県	100.3	5
35 山口県	99.5	35
36 徳島県	99.7	31
37 香川県	100.2	8
38 愛媛県	100.1	10
39 高知県	99.9	23
40 福岡県	100.1	11
41 佐賀県	100.2	6
42 長崎県	99.8	30
43 熊本県	99.6	34
44 大分県	100.0	15
45 宮崎県	100.0	14
46 鹿児島県	99.9	22
47 沖縄県	100.0	20

	昼夜間人口比率 平成17年	
	100.0	全国順位
	100.0	18
	99.9	23
	99.7	29
	100.1	13
	99.9	24
	99.9	22
	99.6	33
	97.0	40
	99.3	36
	99.9	27
	87.5	47
	88.5	46
	120.6	1
	90.3	44
	100.1	11
	99.7	30
	100.3	5
	100.2	8
	99.1	37
	99.9	25
	95.9	42
	99.9	26
	101.7	3
	97.8	38
	96.2	41
	100.8	4
	105.5	2
	95.1	43
	88.7	45
	97.8	39
	100.2	9
	99.9	20
	99.9	21
	100.3	6
	99.4	35
	99.7	32
	100.2	7
	100.1	10
	99.9	28
	100.1	12
	100.0	15
	99.7	31
	99.6	34
	100.1	14
	100.0	16
	100.0	19
	100.0	17

○市町村（昼夜間人口比率）

H22	昼夜間人口比率	順位		昼夜間人口比率	順位
埼玉県	88.6		伊奈町	96.0	12
さいたま市	92.8	18	三芳町	113.1	1
川越市	97.1	10	毛呂山町	89.0	25
熊谷市	98.6	6	越生町	87.5	29
川口市	83.7	47	滑川町	100.4	5
行田市	88.5	27	嵐山町	104.5	2
秩父市	96.6	11	小川町	78.9	57
所沢市	86.5	36	川島町	92.9	17
飯能市	88.7	26	吉見町	82.5	49
加須市	90.6	23	鳩山町	89.9	24
本庄市	100.8	4	ときがわ町	87.1	31
東松山市	98.6	7	横瀬町	82.0	51
春日部市	82.0	50	皆野町	92.4	20
狭山市	93.9	14	長瀨町	86.8	33
羽生市	97.5	9	小鹿野町	92.4	19
鴻巣市	80.0	55	東秩父村	76.4	62
深谷市	95.0	13	美里町	100.8	3
上尾市	83.9	46	神川町	93.9	15
草加市	85.5	40	上里町	86.4	37
越谷市	86.7	34	寄居町	88.4	28
蕨市	85.1	41	宮代町	80.5	54
戸田市	93.8	16	白岡町	77.0	61
入間市	86.6	35	杉戸町	87.3	30
鳩ヶ谷市	75.6	63	松伏町	78.2	60
朝霞市	84.1	45			
志木市	78.3	59			
和光市	84.8	42			
新座市	86.2	38			
桶川市	84.5	44			
久喜市	86.9	32			
北本市	79.4	56			
八潮市	97.6	8			
富士見市	72.4	64			
三郷市	85.6	39			
蓮田市	80.7	53			
坂戸市	92.2	21			
幸手市	84.5	43			
鶴ヶ島市	78.7	58			
日高市	92.0	22			
吉川市	82.0	52			
ふじみ野市	83.2	48			

H17	昼夜間人口比率	順位		昼夜間人口比率	順位
埼玉県	87.5		伊奈町	99.0	11
さいたま市	91.9	27	三芳町	113.2	1
川越市	96.5	18	毛呂山町	86.9	35
熊谷市	100.0	8	越生町	85.7	40
川口市	84.8	44	滑川町	98.0	14
行田市	88.8	30	嵐山町	99.5	9
秩父市	97.3	17	小川町	77.5	68
所沢市	85.0	43	都幾川村	71.1	75
飯能市	88.2	32	玉川村	108.7	2
加須市	90.6	29	川島町	87.0	34
本庄市	101.6	4	吉見町	84.3	46
東松山市	98.7	12	鳩山町	88.4	31
春日部市	80.2	61	横瀬町	82.1	55
狭山市	92.5	25	皆野町	92.0	26
羽生市	93.9	21	長瀨町	85.2	41
鴻巣市	79.6	63	小鹿野町	92.6	23
深谷市	92.5	24	東秩父村	72.7	74
上尾市	82.9	50	美里町	99.4	10
草加市	82.1	56	児玉町	100.1	7
越谷市	83.8	48	神川町	97.9	15
蕨市	84.5	45	神泉村	95.6	19
戸田市	97.9	16	上里町	81.7	58
入間市	85.9	38	江南町	94.2	20
鳩ヶ谷市	75.6	72	岡部町	98.4	13
朝霞市	82.3	53	川本町	100.6	6
志木市	78.6	64	花園町	87.4	33
和光市	85.7	39	寄居町	86.5	36
新座市	83.8	49	騎西町	86.4	37
桶川市	82.1	57	南河原村	68.1	78
久喜市	92.6	22	北川辺町	73.2	73
北本市	78.3	65	大利根町	104.0	3
八潮市	100.6	5	宮代町	77.9	67
富士見市	70.4	76	白岡町	77.0	71
三郷市	82.3	54	菖蒲町	82.7	52
蓮田市	78.0	66	栗橋町	79.9	62
坂戸市	91.4	28	鷲宮町	69.2	77
幸手市	80.7	59	杉戸町	84.1	47
鶴ヶ島市	77.1	70	松伏町	77.2	69
日高市	85.2	42			
吉川市	82.9	51			
ふじみ野市	80.5	60			

H22

さいたま市 西区	86.1
さいたま市 北区	91.6
さいたま市 大宮区	138.7
さいたま市 見沼区	80.8
さいたま市 中央区	98.4
さいたま市 桜区	84.2
さいたま市 浦和区	102.4
さいたま市 南区	75.5
さいたま市 緑区	79.5
さいたま市 岩槻区	101.6

H17

さいたま市 西区	83.7
さいたま市 北区	90.4
さいたま市 大宮区	148.6
さいたま市 見沼区	77.6
さいたま市 中央区	98.3
さいたま市 桜区	82.5
さいたま市 浦和区	103.3
さいたま市 南区	72.2
さいたま市 緑区	75.5
さいたま市 岩槻区	98.3